

音 楽

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 表現領域の三つの分野及び鑑賞領域を、適宜、関連を図ることができるような内容、構成になっているか。
	(5) 表現及び鑑賞の活動を通して、共通事項を理解し、身に付けることができるような題材構成となっているか。
	(6) 我が国や郷土の伝統音楽に愛着をもち、理解を深めることができるよう工夫されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ 具体項目

音楽

観点	発行者	教 出	教 芸
<p>1 かな教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 成目指「教科の特質に とす「教育の目的」に なす「人間像」の達成に つて「育成」に資する内 ているか。容、教育、構 が及</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自分の思いを生かして表現したり、協働して音楽活動をしたりすることで、豊かな人間性と情操を培うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の特性を生かした多様で効果的な学習活動を展開することで、豊かな情操を培うことができるよう配慮されている。
	<p>(2) 自ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、 かせる自然について理解を深める学習に につて題材が扱われているか。生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4年「日本のお祭りをたずねて」では「長崎くんち」を、5年「日本の民謡をたずねて」では「のんのこ節」を取り上げており、日本全国の祭りの音楽や民謡と併せて聴くことで、ふるさとの音楽の特徴やよさを知り、郷土や日本の音楽への愛着や理解を深めることができるよう配慮されている。 ・4年「日本各地につたわる民謡や郷土芸能」と3年の裏表紙「わたしたちが受けつぐおどりと音楽」では「長崎くんち」が紹介されており、全国の様々な祭りの音楽と聴き比べることで、それぞれの特徴を知り、郷土や日本の音楽への愛着や理解を深めることができるよう配慮されている。 	

Ⅲ 具体項目

音楽

観点	発行者	教 出	教 芸
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新出の音符や記号等を巻末に一覧にまとめてものに加え、楽器の奏法を分かりやすく提示することで、児童が学習内容を自ら確かめ、身に付けることができるよう工夫されている。 ・2年以上に「スキルアップコーナー」を設けることで、児童が発声や強弱、速度、拍など様々な要素を試しながら、幅広い表現の仕方を身に付けることができるよう工夫されている。 ・鍵盤ハーモニカやリコーダーの導入期には、タンギングを伴う一音一音の出し方を丁寧に扱った上で、旋律づくりの活動を取り入れることで、奏法や音感を着実に身に付けることができるよう工夫されている。 ・3年以上はリコーダーの運指表が折込になっており、右に広げると楽譜を開いたままで運指の確認ができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に音符・記号、リコーダーの運指表等の一覧に加え、各学年で学習した内容を「ふり返りのページ」として示すことで、学習内容を振り返り、確実に習得できるよう工夫されている。 ・新出の音符や記号について記入して覚える欄を設けることで、知識として確実に身に付けることができるよう工夫されている。 ・鍵盤ハーモニカの導入期には、まねっこ遊びや階名唱を設定し、リコーダーの導入期には、タンギングと息の強さ等の配慮点を示すなどして、楽器の基本的な奏法を楽しみながら身に付けることができるよう工夫されている。 ・4年以下は、階名を色別の風船で表したイラストを随所に示すことで、無理なく音程感覚をつかむことができるよう工夫されている。
	<p>(2) 知識・技能を応用して課題を解決するために必要となる思考・判断力等を育成できるよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2年以上に「音楽を表すいろいろな言葉」のコーナーを設定することで、楽曲の感じや構造を言葉で表し、表現を工夫する学習が深まるよう工夫されている。 ・「音のスケッチ」として音楽づくりにつながる独立したコーナーを設けることで、身の回りの音を感じ取ったり、既習事項や自分の感覚を生かして新たな音楽を生み出したりする活動ができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年以上に、音楽の仕組みや表現方法などについての解説や例示を分かりやすく示したコーナーを設けることで、児童が要点を押さえた上で学習を深めることができるよう工夫されている。 ・音楽づくりの活動を題材に組み込んで配列することで、当該題材で身に付けた知識・技能を生かして、新たな音楽をつくりだすことができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

音楽

観点	発行者	教 出	教 芸
<p>2 の 特 長</p> <p>学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上で</p>	<p>(3)</p> <p>主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「どんな声や気持ちで歌うとよいか」「〇〇を感じ取ってきこう」など、学習の手がかりを活動のポイントとして示すことで、児童が自ら学習を進めることができるよう工夫されている。 ・活動への提案や参考になる事項を示した「もっとあそぼう」のコーナーを設定することで、児童が楽しみながら学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・4年以上の巻頭に、有名な音楽家からのメッセージを自筆のサインと共に掲載することで、児童の活動意欲をかき立てるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ト音記号やヘ音記号のキャラクターが、吹き出しで学習への手がかりを示すことで、児童が主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。 ・活動への提案や、より進んだアドバイスをする「チャレンジ」のコーナーを設定することで、児童が楽しみながら学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・5、6年の巻頭に、有名な表現者の活躍の様子や、表現することへの思いを掲載することで、児童の興味・関心を引き出すよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

音楽

発行者	観点	教 出	教 芸
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) 鑑賞領域の三つの分野及び内容を構成しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本的な内容を取り扱う題材群1と、培った力を生かして学習を広げる題材群2で構成することで、児童ができた喜びを味わい、さらに活動を広げていくことができるよう配慮されている。 題材のねらいに即した表現及び鑑賞の教材を配置した上で、オプション教材を活用することで、必要に応じて領域や分野を関連付けた指導ができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 題材のねらいに即した教材曲や学習活動を配置することで、各領域や分野を関連付けながら、バランスよく効果的な学習を進めることができるよう配慮されている。 各題材で取り扱う教材曲ごとにねらいを明確に示すことで、表現及び鑑賞の活動を関連付けて学習を進めることができるよう配慮されている。
	<p>(5) 共通事項を軸に題材内の教材を関連的、対照的に配置することで、児童一人一人が創意工夫を生かし、音楽的視野を広げることができるよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 共通事項を「音楽のもと」としてページ上部に示し、3年以上はさらにメモ欄を設けることで、共通事項を意識しながら、学習のねらいを焦点化した指導を行うことができるよう配慮されている。 共通事項を軸に題材内の教材を関連的、対照的に配置することで、児童一人一人が創意工夫を生かし、音楽的視野を広げることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習に関わりのある共通事項をページ下部に示すことで、表現及び鑑賞の各活動と共通事項の学習を一体として行い、児童が理解を深めることができるよう工夫されている。 体の動きを取り入れた活動や、友達と伝え合ったりする活動を取り入れることで、共通事項を身に付けることができるよう工夫されている。
	<p>(6) 我が国や郷土の伝統音楽に愛着をもち、我が国の音楽への関心を高めるよう配慮されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 4年では「こと」、5年では「しの笛」、6年では「雅楽」「尺八」を取り上げ、演奏や歌唱に挑戦する「チャレンジしよう」のコーナーを設けることで、その仕組みや奏法など和楽器への理解が深まるよう工夫されている。 1～3年は、わらべ歌や手遊び歌、4年以上は、民謡や伝統芸能について詳しく紹介することで、楽しみながら、我が国や郷土の伝統音楽への愛着や理解を深めることができるよう工夫されている。 歌唱共通教材については、学習内容に即して題材の中で扱うとともに、歌詞の表す情景をイメージしやすい画面構成を工夫することで、我が国の音楽への関心を高めるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年の裏表紙で、各地に伝わる郷土芸能を大切に受け継いでいる児童の紹介をすることで、郷土の伝統文化の継承を身近に感じられるよう配慮されている。 我が国の伝統音楽を学習する際に、音楽づくりや鑑賞の活動と関連させることで、発達の段階に応じて我が国の音楽文化を理解できるよう工夫されている。 歌唱共通教材については、「こころのうた」のコーナーを設定し、分かりやすく表記するとともに、前後の題材と関連させて取り扱うことで、関心を高め、学習内容が定着するよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

音楽

発行者		観点	教 出	教 芸
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長	(1) 述とや文 内もす章 容にくは、 と豊 なか質分 つな・か て記量り		<ul style="list-style-type: none"> 音楽づくりの学習では、手順をわかりやすく解説することで、児童が理解を深めながら創作活動に向かうことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞の活動において、聴き方や演奏形態などについて端的に説明することで、児童が楽しく聴いたり深く味わったりすることができるよう配慮されている。
	(2) 習習写 内意真、 容欲挿 慮との高 されめ れてる るか とと 学と 習も 果に、 に学学		<ul style="list-style-type: none"> 共通教材は、折込を使った大きな写真を掲載することで、曲想をイメージしやすいよう配慮されている。 楽器や奏法について、写真で大きく提示することで、楽器の特徴や奏法が理解しやすいよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ドレミの音階を縦に並べる挿絵として示すことで、音の高さを意識することができるよう配慮されている。 音楽づくりの学習では、つくる過程を挿絵や図表で示すことで、児童がイメージをもって活動できるよう配慮されている。
	(3) 本レイ 等につ アア つウ いてト は、や 色色 彩、 文 字の 大 き さ、 挿 絵 の 活 用、 紙 質、 製		<ul style="list-style-type: none"> 目次に、「前の学習を思い出そう」や「他のページも見てみよう」などの指示が親しみやすいマークで示されていることで、学習のポイントが明確になるよう配慮されている。 ウェブサイト「まなびナビ」につながる二次元コードが目次に示されていることで、児童の活動のヒントとなる動画や説明がすぐに入手できるよう配慮されている。 紙面の左上に、題材名や学習の見通しが示されていることで、検索しやすいよう配慮されている。 見開きのページに様々な写真や挿絵を効果的に配置することで、児童が情景を想像したりイメージを広げたりして学習を進めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目次に、共通教材や音楽づくり、鑑賞の教材等のマークがあることで、学習内容がひと目で分かるよう配慮されている。 随所に専用ウェブサイトにつながる二次元コードが示されていることで、児童の活動のヒントとなる動画や説明がすぐに入手できるよう配慮されている。 紙面の左上に、題材や活動内容、右下に共通事項の内容が分かるように示されていることで、検索しやすいよう配慮されている。 レイアウトに統一感があり、紙面全体として区別しやすい配色を用いていることで、見やすく読みやすいよう配慮されている。